

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 小平市を旧石器時代研究の拠点にしよう

質問要旨

令和4年8月26日から約1ヵ月間行われた国史跡鈴木遺跡保存活用計画に対するパブリックコメントに関して、市ホームページのパブリックコメント機能で寄せられたご意見・ご提案の把握漏れがあった。すでに計画は確定し、把握漏れのご意見・ご提案は検討委員会(小平市国史跡鈴木遺跡保存活用計画検討委員会)にかけられないまま、すべてが今後の参考意見という扱いにされた。このままではいただいた貴重なご意見・ご提案が一切深掘りされないまま計画が進んでいくと予想する。そこで今回は把握漏れのパブリックコメントの中から「小平が旧石器研究の拠点となりうるよう、書籍の収集をおこなってはどうか。シンポジウムや学会を誘致してはどうか。」というご提案に注目する。このご提案は大きな費用をかけることなく、これまでにない新しい視点でまちの魅力を向上させる取組みであり、活用計画の一つの柱にできるものと考えため質問する。

1. 東京都指定史跡と国の史跡の違いは主にどこにあるか。
2. 東京都にある国の史跡のうち、時代が旧石器時代に分類されているものは鈴木遺跡だけという認識でよいか。
3. 石神井川最上流部に向かって収斂する扇の要の位置を占める鈴木遺跡は、旧石器時代の拠点の居住地であったと考えられている。規模は都内最大級で、遺物の出土数は12万点以上あり、12枚の文化層の存在など日本の旧石器時代の編年上欠くことのできないものとされている。地理的な側面だけではなく旧石器時代の研究上も、要となる遺跡である。このような背景から、パブリックコメントのご提案にあるように、旧石器時代研究の拠点となるよう、研究に資する書籍や市民の理解や興味が深まる関連の書籍を収集して一般公開したり、旧石器時代研究のシンポジウムや学会を誘致したりするなど、小平市が旧石器時代研究の拠点となることを目指してはどうか。
4. 日本考古学協会や日本旧石器学会と協議を行い、市として活動場所の提供や活動の資金援助を行うなど、定期的に連携する道を探ってはどうか。
5. 鈴木遺跡をはじめ市内の遺跡に関連する研究を進める学生や研究者に研究奨励費を出してはどうか。
6. 今回の国史跡鈴木遺跡保存活用計画に対するパブリックコメントに寄せられ参考意見の扱いとなったご意見やご提案は、今後具体的にどのようなプロセスで計画実施に向けて参考として取り入れられていくか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和5年5月29日 小平市議会議員 殿 小平市議会議員 氏名 安竹 洋平

受付番号【     】
